

月刊

かわぐち心臓呼吸器病院



10

2024

ハートチーム通信

Vol.26



Kawaguchi Quality
Kawaguchi Cardiovascular & Respiratory Hospital

Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

急性大動脈解離Stanford Bに対するステントグラフト治療

*The new indication of TEVAR for uncomplicated type B aortic dissection
Medicine 95(25):p e3919, June 2016.*

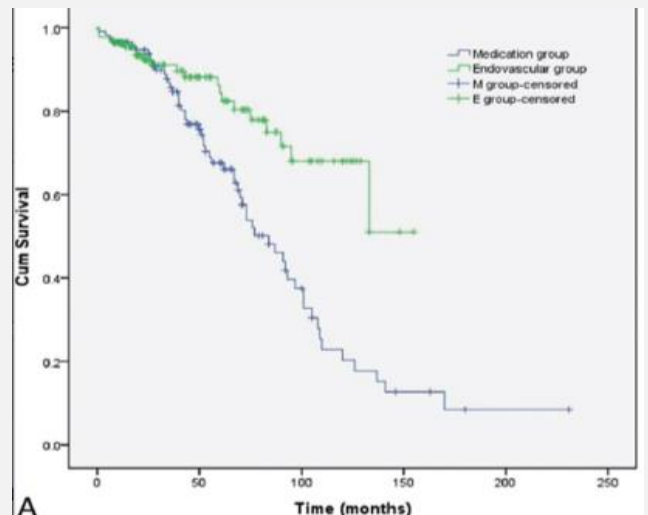
B型大動脈解離の古典的な治療適応は薬物療法か開胸手術であり、比較的安定した合併症のないB型大動脈解離には薬物療法が推奨されてきました。ステントグラフト技術の向上と保存加療後の破裂や再解離のリスクに伴い、合併症のないB型大動脈解離の治療選択について議論がされてきました。1992年から2015年までにB型大動脈解離と診断された252例のデータを後方視的に分析され、117例が薬物療法、135例にステントグラフトが選択されました。結果はステントグラフト群の60ヵ月生存率のほうが薬物療法群よりも高くなりました(92.3%対67.6%)



文責 心臓血管外科 前川 浩毅

当院は従来の開胸手術に加え、ステントグラフト内挿術による低侵襲手術にも力を入れております。大動脈疾患に対する経験豊富な医療体制があり、より患者さんに適した治療を提供させていただいております。

大動脈解離だけではなく大動脈瘤やその他心臓疾患でお困りの際はご紹介いただければ幸いです。



スタッフ紹介 Vol.26



リハビリテーション科
副科長
理学療法士
米国呼吸療法士
菊池 綾

国立療養所箱根病院附属リハビリテーション学院出身です。寮に食べ物を狙って侵入してくる野生の猿と戦いながら学んだ学生生活ももう20年以上前…諸々の衰えを感じるようになってきましたが、握力だけは右肩上がりで最近自己記録を更新しました。いまは洪野日名子選手と同じくらいです。吉田沙保里選手の55kgを目指してみようと思います。

過去のハートチーム通信はこちら →

